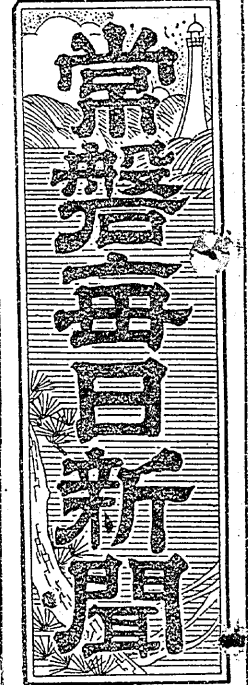


刊夕日參月貳拾



定価 一部金五銭 五部金五銭
 廣告料 五部金五銭 一行金五銭
 日曜 祭日の翌日 休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞社
 電話 六三〇〇

簡易洋食の智識

平會館調理部
 今成 鐵一郎

『ビーフステーキ』(ビフテキ)これは牛肉の個所によつて色々と名が違ひます上等の順に云ふと、一テンダーロイン(フイラー)サロイン(背から腰へかけての肉)ソブ(腰から背へかけての肉)ラム(背)……ステーキ等と呼ぶ。

焼き方は、右の肉を重さ三十匁位、厚さ七分から一寸位に切り両面に、鹽、こせうをふり、サラダオイルにひたして炭火にて銅焼きに致します。然し一般にはバターにてフライパンで焼きますが、銅焼きにしたものが上等です。鍋で焼く場合はなるべく厚手の鍋を用ひます。

『焼き方』は先ず鍋に少量の油を引き、強火にかけ、横械の修繕が動機で蒸氣の潜熱を發見し一七七五年蒸氣汽鍋を作製す、之より産業革命始まる

にやき、暫らくしし上面に赤い血がにじみ出て来たらず早やく裏返します。此の場合特に注意すべき事は、材料を鍋に入れからは絶対に箸やフォークで肉を押へぬ事です、肉を押さへると大切な肉汁を絞り出してしまひます。火加減は必ず強火を用ひ肉を焦さぬ程度に充分焼色を付けます、焼色を充分付けぬと、はなはだ、まずさうで召上つてもビフテキ特有の嗜好をそゝる香が付きません。焼き加減は各自のお好みは依つて違ひますが、ビフテキの味の上からも消化吸収の点から云つても半熟程度に焼いた方がよいと思ひます。

『付け合せ』は、馬鈴薯のフライ、又は季節の野菜を適量盛合せ食鹽、羊子等の薬味を添へて供します。

『チョップ』ポーク、チアツプなどの類、これは豚小牛、羊等の背から腰へかけての肉をビフテキと同様に調理した料理です。調理方はビフテキと全然同じですが、肉が違ふ時にチョップ、と呼ぶのです。但し肉の種類により特別に製したソース、薬味等を添へる事があります。

次にビフテキやチョップなど付け合せ、馬鈴薯フライの作り方を申上ります。

…立献の日明…

【朝】味噌汁：若芽 小付 富貴豆

【晝】オムレツ 鹽カラかつを

【晚】柳川：さ、が きこぼう ど じょう お浸 しほうれん草

パ型にまるめて、まわりに粉をまぶせてバターで焼いて、前述のポテトフライを添へ、パセリをかざつて熱中に供します。ドミグラスと云ふ特別のソースが付きますが、御家庭なれば普通のウラスターソースで召上つても結構です。

流行歌 國境の町 母を尋ねて 草津くずし 故國よさらば 東京かつぼれ 曠野に祈る

★各社レコード

高橋時計店

是非!

御融通には御利用下さい 萬事便利な御相談に應じます。

三井質店 平四・電六〇六番

内外科科一般

金成醫院 平鎌田町(電三五八)

御中食(ランチ)に

サロン獨特の御飯物

ベニエライス(天井) 御一人前……35 SEN 御酒の御肴に

サロンベニエ(天ぷら) 御一人前……30 SEN

サロングリエ(鬼ガラ焼) 御一人前……30 SEN

トテモおいしい天井です トテモおいしい御肴です 是非御試食御最負の程を御願ひいたします 出前は迅速にいたします

—平田町—

イワキ サロン 一デンワ 352—

國は日本、凍魚はヒノマル

ルマ◎ノヒ 魚 凍

元賣發約特産水本日 社會株式氷製平

番六一三・八二二話電

屋開魚印ト 店理代町平 一番八二五話電一

貸切の御用命は!

電話六四〇番

尼子タクシ

是非お願いいたします

遠乗りには特に御相談に應じます

透明障子紙

意匠登録 第六三三七八號

▼本品は室内用、室外用の二種あり

▼室内用は張方従来の通り生紙糊にてよろし

▼室外用は特に室外用ノリにて張ればよろし

▼本品は硝子、セルロイド以上の優秀點を具備す

▼雨と風との神様が兩神一緒に暴れても室外用は平氣なり

▼現品は普通障子紙巾にて(長さ九メートル)

◎定價

▼室内用 六十六錢

▼室外用 一罐 二十錢

平町四丁目

夕伊勢屋 阿部商店 電話四五番

賣弘め中粗景手拭一本呈上

月曜是非

凶作地と救済策

『凶作地救済』は一種の時代的流行風潮となり終せた感がある、『凶作』と云ひば申譯が立ち『救済』を唱ふれば理屈が通る、此の結果は興業物まで凶作地救済を看板に掛けて入りをとる、相互扶助の立場から、有無相通じて乏しい者を満さうとする觀念は、同じ流行の部類でも先づ上の口といふべきであらうが、是れも餘りに疑り過ぎると、思案にたがはぬナンセンスが續出しないものでもない、

這般郡下の各寺院より成る佛教善華會では、會津地方の最も被害の甚大である村の尋常科在學中の男女生廿五名を引取つて八ヶ月間養育するとの申合せをした僧侶が比較的世間と没交渉であるとして非難のある折柄、沈滞の空氣を破つて、此の大計劃の許に救済事業に突進せんとする意氣は正に壯とすべきものがある、筆者は近來の快報として、是れを推奨するに決して憚らない、

されど此の計劃を實際に即して考へる時、果してどうか。凶作は慘憺たるものに違ひない、殊に子供の多い農家の窮迫は想像に餘りある而しながら子供の多いといふ事は、子供を離せぬといふ紛れな事象を示すものであつて、『子と共に餓え

ん』それが凶作地の親の眞情であらう、相當成長した子供なら兎に角末だいたいけな學齡兒童を膝下より離して、生活の緩和を望む親が幾人あるか、従つて見ず知らずの遠隔の地に一本の文書を送りて子供の養育を依頼し來る親は恐らく一名もないであらうと思ふ、

地の親子を幸福に導く所以ではない、何故善華會の人々が、百尺竿頭更に一步を進め、子供と共に在つて、求め得る幸福を提供しやうとはしなかつたか吾人は今回の聲のみ大にして、およそ實際とは縁遠い畫餅に似た計劃を見て、地上に即しない足許の危なさに心を冷す一人である。

賀状の洪水に備へ

各種の集金を中止

年賀郵便は例年の通り本月廿日から廿九日迄取扱はれるが賀状洪水に備へ平局では市内特別取扱郵便物は來る廿五日から一月七日迄取扱ひを中止する外、集金郵便の引受は廿五日から三日迄、同取立は元日から七日迄月掛貯金の集金は元日から三日間、保険料、年金、掛金等、集金も元日から五日間いづれも取扱ひを中止し全員擧げて賀状の取扱ひに當ると

法人稅務

研究の總會

平稅務所内の石城法人稅務研究會は來る八日午後一時より同署樓上に於いて總會を開き法人稅務に關する研究を遂げると

消火栓改良

水道の工事

平町役場前、驛前、白銀町

高麗橋を中心として

眞木翁の懷古事談

軍使の父に御褒美

京の都は火事騒起

元治甲子が水戸の天狗騷動、平からは前隊には番頭中村茂平、本隊が執政堀内織衛、後軍が番頭加茂下左間別働隊執政上坂助太夫

地内等に双口消火栓、及び町内數ヶ所に單口消火栓を敷設する爲め是れが付帯の水道鐵管改良工事は總工費四千二百圓で去月三十日着工したが明春三日末までに竣功の豫定

學齡兒童

減少六十三名

明年度の學齡兒童は目下町役場學務課で調査中であるが去月末現在では

第一校 本籍七七 寄留一四一(計二一八) 第二校 本籍七三 寄留一一八(計一九一) 第三校 本籍男三一 女四八 寄留五七 女六四(計二百名)

總計は男二百八十七、名女三百十二名で今年度と比較して六十三名減少してゐる

學齡兒の手續

洩れぬ様にと

〔別項〕目下平町學務課で調一先づ消えて、鎧甲は櫃に

山林一町歩

小學校に寄附

草野村大字馬目の素封家芳賀辯之助氏は此程同村小學校の基本財産として絹谷地内の山林約一町歩立木共(價格千數百圓)を寄附したので村民より感謝されてゐる

四倉方部青年

聯合の總集會

四倉町、大野、大浦、草野一町三ヶ村の青年團總集會は昨日午前九時より四倉小學校講堂に開催各團代表の意見發表に次いで陸軍歩兵中佐中野正太氏の時局に關する

査中である明年度學齡兒童昭和三年四月二日から四年四月一日までに出生の者の父兄中本籍地及び寄留地と現住所の一致しないものは來る二十日まで同町役場に轉籍轉寄留届の手續きを完了せられたいと尙未届のものには往々就學洩れや學編成に困難を來すから注意されたいと

集配勝つ

平局リーグ戦

既報平郵便局各係の軟式野球リーグ優勝戦は昨日午前十時より平商グラウンドに於いて舉行、集配對郵便は七對六の接戦で集配が勝ち同チームは四戰四勝して本年度局長カップを獲得した

納豆菌を寄贈

平町

古銀治町佐藤善次郎氏は本日第二小學校五ノ四組に風邪の豫防に特効ある納豆菌の試用大瓶一ヶを寄贈した

衛生書方人賞

平第

二小學校は明日四日過般福島市に於て開催された本縣主催の衛生思想普及書方展覽會に入賞した左記兒童の賞状授與式を行ふと

農産品評會一束

植田町農會主催農産物(俵米、蔬菜、加工品)品評會は

十三日から三日間同町南市場で催されるが出品約五百点に及ぶ見込

讀方研究教授

平第

二小學校一ノ一組任海老原訓導は來る六日讀方研究教授を行ふ由

國有林の入札

平營

林署は來る二十四日午前九時より川前村役場に於て同村地内國有林七十三ヶ所及び双葉郡大久村地内國有林二ヶ所同久之濱町地内二ヶ所の林野賣拂入札を執行すると

二年鈴木知恵子 同草野トシ子 四年大和田キヨ子 六年鈴木スズ子 三六年島海球 高二大木豊子

讀方研究教授

平第

二小學校一ノ一組任海老原訓導は來る六日讀方研究教授を行ふ由

農産品評會一束

植田町農會主催農産物(俵米、蔬菜、加工品)品評會は

十三日から三日間同町南市場で催されるが出品約五百点に及ぶ見込

讀方研究教授

平第

二小學校一ノ一組任海老原訓導は來る六日讀方研究教授を行ふ由

國有林の入札

平營

林署は來る二十四日午前九時より川前村役場に於て同村地内國有林七十三ヶ所及び双葉郡大久村地内國有林二ヶ所同久之濱町地内二ヶ所の林野賣拂入札を執行すると

讀方研究教授

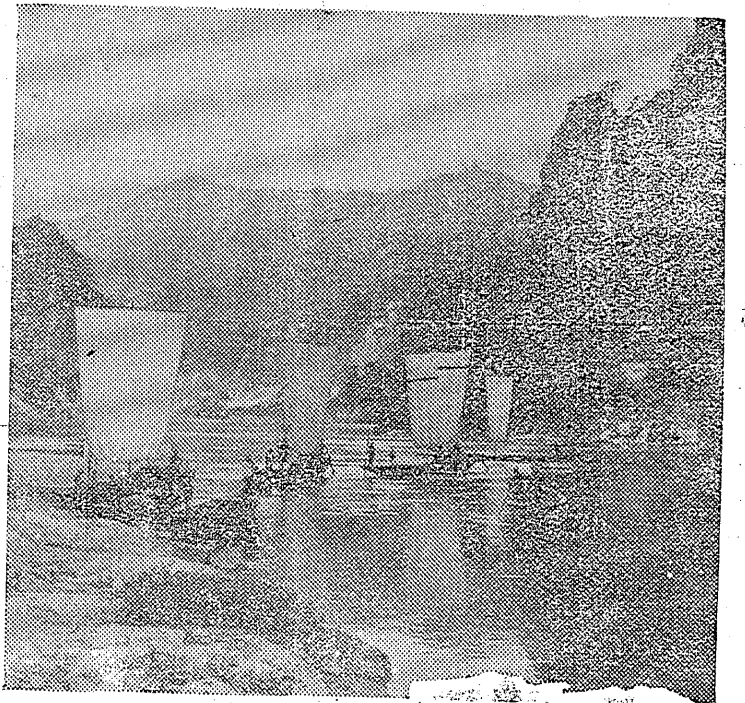
平第

二小學校一ノ一組任海老原訓導は來る六日讀方研究教授を行ふ由

農産品評會一束

植田町農會主催農産物(俵米、蔬菜、加工品)品評會は

初冬の風を乗せて白帆も寒く……



列車の運轉に

事故が起らぬ

漸く板についたと
喜ぶ後藤平驛長

平驛の新ダイヤに依る列車運轉は改正當夜の二〇二上り急行列車が盛岡附近の降雪で平驛に廿七分遅着した外事故は皆無と云ふ好成绩を挙げ本三日には全驛員の操車振りが漸く板に付いたと後藤驛長は喜んで居る

對米通話

愈よ九日から

平郵便局の日本國際電話は先日の試験に奏効の結果愈々來る九日から取扱ひを開始するが平東京間の有線電線東京桑港間五千哩の無線電線に依つて連絡され桑港から全米各都市及びカナダ、メキシコ、キューバ諸島にも通ずるもので料金は平桑港間が一通話九十圓、ニューヨーク、シカゴ等は百二十圓、キューバーは百四

既に廿名

年賀郵便整理の爲め平郵便局では本年も臨時雇を十名募集するが氣の早い志願者の申込みが二、三ヶ月前からある有様で現在既に二十名に達してゐるが同局の採用方針としては前の経験者

十圓であるとして尚平局の同線申込は午前六時から午後十一時迄

小兒慘死

赤井村川瀬炭坑夫忠雄妻小柳イト(三)は一日午後四時頃自宅前でガソリンを焚いた處その火にあつて居た同炭坑夫渡邊武之助二女キヨ子(五)の着物に火が燃え移り悲鳴を揚げて助けを求めたが遂に全身に大火傷を負ひ同夜八時絶命した平署ではイトを取調べたところ同人はその際自宅内で仕事に忙殺されてゐたため悲鳴をさかなかつたと申立てたが結局過失致死罪で送局される筈

赤井村磐城耐火煉瓦工場事務員東條菊雄(四)は去月二十九日夜同村長谷川淺次郎氏長男淺一の入營祝宴で強か飲んでの歸途通り合せた同村小野慶藏(五)に「この不景氣に呑氣に酔はらつて歩くのは生意氣だ」として毆打され頭部に全治二週間の傷害を負された二日平署に慶藏を相手取り告訴した

偽醫者の罰金が廿圓

罰金が廿圓

既報偽醫者の双葉郡津島村大字津島字赤館四七鹿兒島縣生れ前科一犯有村爲三(三)は本日罰状明白となり醫師法違反として起訴されたが直ちに關口判事より略式罰金二十圓に處された

棺桶の蓋

開いて檢視

鋸で挽いた手の掌

平町新川町製材業長小次郎方職工仲間居住澤地辰之助(三)は去月三十一日朝製板作業中製板鋸で右手掌を切斷したが平署に報告せず木村病院に入院加療中二日朝死亡したので同家では直ちに葬式を営まんとしたと

明日のラジオ

今朝の天気 北の風晴曇半す
今晚も明日も西

政談	一籠齋貞山
後八、三〇	長唄
「吉原雀」	富士田新藏外
後八、五〇	浪花節週間
(第五夜)「桂川力藏」	一心亭辰雄
後九、三〇	時報 ニュー
ス	氣象通報 番組預告

酔ッ拂つて

夜歩きは御用心

赤井村磐城耐火煉瓦工場事務員東條菊雄(四)は去月二十九日夜同村長谷川淺次郎氏長男淺一の入營祝宴で強か飲んでの歸途通り合せた同村小野慶藏(五)に「この不景氣に呑氣に酔はらつて歩くのは生意氣だ」として毆打され頭部に全治二週間の傷害を負された二日平署に慶藏を相手取り告訴した

發電所に賊

永戸村大字渡戸一丁目雇業草野覺治(三)は二十九日夜磐城炭礦平發電所に忍び入り難夫木村正男所有の腕時計價格十二圓及び職工數名の外套から現金廿圓を窃取二日朝平署員に檢舉された

抵當權の設定で

平區才判所登記所に於ける去月中の受理件數は六百五十八件あり、これが登録税は三千七百七圓四十二錢で最も多いのは抵當權設定登記の六十八件(此債權額約五萬)次ぎは賣買登記である

登記所は大繁忙

平生以上の珠算競技會を催すと

平職界紹介所報告

△求人を求める方
△菓子徒弟 十四、五才
△自動車修繕工 二十才以下
△尋卒以下 尋卒以上
△印刷工見習 十四五才位

尋五珠算競技

平第二小學校は來る二十二日五

明日の

前七、〇〇	基礎獨語講座
(三五)	岡本 修助
前七、三〇	聖典講義
(三)	長井 眞琴
前八、〇〇	家庭經濟講
座(四)	「物價の動き」
前田 繁一	
後八、〇〇	五ラヂオレビュ
「犬の月曜日」	
ムーラン。ルージュ	
後二、〇〇	講演「東北地方の凶作について」
田中館秀三	

△後六、〇〇 子供の時間
お話「郵便が生れた頃」
△後六、二五 英語講座
(六の四)岡部 次郎
△後七、三〇 講演「舉國一致の秋」
田中 穂積
△後八、〇〇 合唱
東北學院合唱管絃樂團
△後八、三〇 二重漫談「やきもち讀本」
飯田 蝶子
小林十九二
△後八、五〇 浪花節週間
(第六夜)「春日局」
龜甲齊虎丸

平町人事

△研町一三 佐々木勝半氏
△長男達衛さん
△道匠小路二三 馬日畝男
△道長女巴恵さん
△鍛冶町八 當時安積縣河内村字屋敷一三二小動勤氏長男弘之さん

△尋卒 給料面談
△印刷徒弟 十六十八才
△高卒 仕着小遣
△職を求める方
△土工夫 三十九才 尋卒
△會社雜夫 五十三才高卒
△事務員 十九才 高卒
△牛乳配達 二十九才高卒

看護婦急派

の求めに應じます

平町南町
看護婦會
電話三〇七番

平看護婦會

の求めに應じます

平町南町
看護婦會
電話三〇七番



明治太平記

(作) 寺島 証史
(畫) 野口 紅涯

第二回 ザンギリ頭 (二)

「さうか、どれひとつやつて貰ふか」
 「どかと、椅子に腰をおとしたが」
 「何しろよほどの決心でこれへ参つたもの、いざ西洋夷狄の國を真似るかとおもうと、ことにいま立去つた官員のザンギリ頭をみるとさすがに情けない氣がするのではう」
 「でも、やはりあなたさまの云はれたやうに、それもこれも時勢、仕方がありません」
 「いや愚痴さ、愚痴ぢや飯が食へぬわい、時勢に捲き込まれてひとつ、明治新政府に仕官しようか。あるじのむ」
 「観念したやうに、そのまゝ目を瞑つて、あるじの前に頭を突き出した」
 「芳三郎」
 「客は、おもひだしたやうに、あるじの名をよんだ」
 「へい」
 「いやさ、三升亭芳丸、そちになのみがあるのぢやが」
 「はい、ですから、たゞまお頭を……」

芳丸とよばれた髪床のあつては、鉢と櫛を兩手に持つてみすばらしい旗本上りのそばへやつてきた。
 「うむ、もちろん、この總髪はばつさりやつてもらはうさ、が、たのみはまだほかに……」



「いや、まつたくのやもめ暮しでござります」
 「芳丸は無造作に、客の大たぶさをばつさり根もとから切り落してしまつた」
 「おう……」
 「それを、毛受にうけ、ふた、び感慨無量の面持でじつと見入つてゐた客はずぐにまた、もとの平靜さにかへり」
 「ではおぬしに、大事なたのみを打明けても他に洩れる愛ひはないな」
 「え、そりアもう大丈夫ですよ」

「と申しますと」
 「芳丸は、いつのまにか、はさみの手をやすめてしまつた」
 「いや、時勢にしたがひ廢刀したおれが、ふた、び大少を所望するのを、そちは不審におもふも道理だが、チトたのまれた筋があつてどうでも必要なぢや、たのむ」
 「且那さま、それではちかごろうはさの古い璋義隊の再舉が、ありアほんとなんですかい」
 「いや、必ずしもさういふわけではない。が、かりに璋義隊の再舉か、殘黨の再」

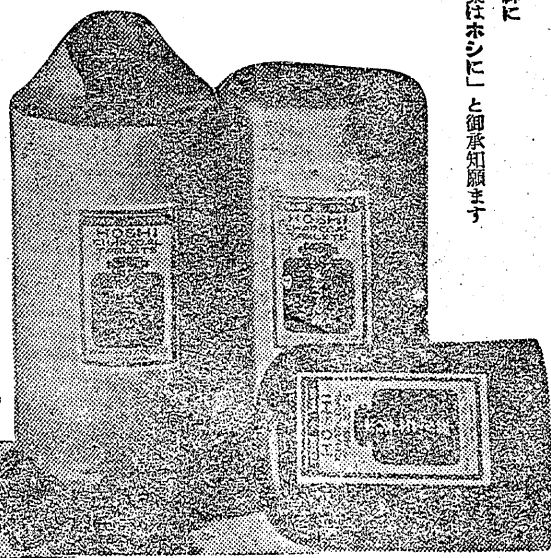
「不馴な手つきで、チヨキン、チヨキンやりながら、かるく請合つた」
 「芳丸、たのみといふのは刀の無心ぢや」
 「ほう」
 「おれの差料、ほかに大小二口ほど至急取纏めてくれぬか」

胃腸整理薬

ホシキ

シホはリスク

一、ホシキは胃腸の弱る原因たる有酸胆汁、下痢の原因なる腸内の微生動物、或は痔瘻等を吸引して大便と共に腸外に排出する
 二、けれども胃腸内に於ける消化液、酵素素など必要な物は腸壁に取つて行かない
 三、微生動物も一週に一度は胃腸の整理を命ずるが宜しい。一、胃腸の整理と腸壁の防禦の爲めだ。



社合式株薬製星 田反五・京東

部支平アトスナーエチシホ

舖藥シホ

〇三目丁三町平

番九二四電

「……」
 「……」
 「……」
 「……」

一冊の代金で
 御希望通りな
 五冊の雑誌が
 自由に讀める
 川崎巡 回文庫
 (申込次第規則書進呈)
 電六三〇番

米國製劑皮膚病良藥
レメドール
 子宮あたゝめぐすり
宮 温 湯
 丹波博士創製セキドメ
たんぼあめ
靈藥ムテキ
 ハタケ、ヤケド、キリキ
 ズ、タムシ
 子宮病、根切藥、下腹や
 りの痛みをなほす事妙な
 うまくてセキがヨクトマ
 ユビハレ、ヤケド、キリ
 キズ、淋病、梅毒、乳ハ
 レ、すべて化膿したものを
 を切らずに癒る
 平町古銀治町一〇
康藥舖
 縣社ノ下 電四四話